

回覧

令和4年5月15日

三好丘旭行政区 区長 谷田 修

「マムシ」に注意！

現在の市街地としてできあがった環境では、マムシなどのヘビを目にすることは珍しいかもしれません。

しかし、身近な所にもマムシは潜んでいるので、要注意です！



Q 「マムシはどんなヘビ？」

A 「体長は最大で80センチ以下の小型のヘビで、頭が三角にとがっているのが特徴。胴体は太く茶色の斑紋があります。

普段は臆病なので、1メートル以内に近づかなければかまれることはほとんどありません。

ただし、これから秋にかけては夜間によく活動します。特に夏には子育てをする時期で、日中からよく活動しますので、注意が必要です。」

Q 「マムシはどこにいるの？」

A 「三好丘の近くでは、境川の茂みで多く目撃されています。

暑くなってくると水遊びがしたくなりますが、お子さんだけで境川で遊ぶのは危険です。

また、名古屋刑務所の草むらの柵の内側は立ち入り禁止の区域ですが、所々に「マムシに注意！」の立て看板があります。これも脅しではなく本当にマムシがいますので、ご注意ください。」

Q 「ヘビにかまれてしまったら？」

A 「119番し、救急車を呼んでください。この近辺では豊田厚生病院にマムシの毒の血清を置いています。みよし市民病院や町の病院には血清がありませんので、ご注意ください。

救急車が到着するまでは、かまれた傷口より心臓に近い部分を布などで縛り、安静にしてください。

もし、何のヘビかわからない場合も、感染症の恐れがありますので119番してください。」



(三好丘旭集会所 TEL0561-36-0566)